

令和4年8月4日

文部科学大臣
末松 信介 殿

文化芸術推進フォーラム
議長 野村 萬

令和5年度政府予算に占める文化芸術予算割合の拡大を コロナ禍からの文化芸術の復興に向け

平素から文化芸術の振興に一方ならぬご尽力を頂き、深く感謝いたしております。3年に及ぶコロナ禍において、補正予算による文化芸術の継続への支援により、当初の公演中止から観客制限による停滞を経て、徐々に創造と享受の機会が回復しつつあります。しかし、他の業界と比べても大きな打撃を受け、失われたものの回復は十分に成されてはおらず、さらに昨今の感染拡大による公演中止は既存の補正予算では手当出来ないという新たな事態を招いています。

令和4年度に緊急の手当を要望するとともに、コロナ禍の影響を吸収し、文化芸術の復興に向けた大きな波を起こしうる、以下の大胆な施策の転換を含め、コロナ禍で高まった文化芸術の価値と役割の重要性に対応するため、政府予算に占める文化芸術予算への割り当て拡大による令和5年度文化芸術予算の大幅な増額を要望いたします。

1) 芸術団体支援の令和5年度予算倍増を

芸術創造活動のコロナ禍からの復興を図り、文化芸術施策を効果的に促進するため、個別の芸術団体への支援だけでなく、全国的な視野で人々の芸術享受機会の増大や地域文化の再興を目的とする「アートキャラバン事業」の継続実施など統括団体への支援も拡充し、令和5年支援予算を倍増して頂きたい。

2) 芸術団体の安定的な運営基盤を強化するため公益法人制度の活用を

芸術団体の活動基盤や危機対応力を高め強化するため、公益法人制度の基準見直しと運用の柔軟化や、寄付金優遇制度の活用を進めるとともに、支援制度手続の簡素化を図るなど、芸術団体を育成する支援策を総合的に構築して頂きたい。

3) 芸術家等の活動継続のため、支援・セーフティネット構築の検討を

多くの国では文化芸術の発展のため、芸術家独自の社会保障制度を定めている。我が国の芸術家は不安定な活動環境にあり、契約の適正化を進めるとともに、十分な社会保障を享受できていない芸術家等が安心して活動を継続できるような支援・セーフティネット構築の検討を進めて頂きたい。

以上3つの要望を含む「文化芸術推進フォーラム提言 2022」（『文化芸術 vol.17』掲載）を実現するための施策推進を要望いたします。

http://ac-forum.jp/wp-content/uploads/2022/07/BunkaGeijutsu_17.pdf

以上